

**1、観察道の整備 (副会長 田村勝芳)**

昨年8月に やまぐち県民活動きらめき財団より事業助成金の交付を受けこれを基に 3月迄にビオトープ内の湿地帯の観察橋を整備することにしました。7年前に設置した観察橋は木道で腐食が進んでおり全面的に取り替え作業が必要となり、この修復用の材料の調達や道具類の購入、又桧、杉の間伐材も現地に運搬して準備をしました。

2月の4日、17日の活動日に全員で修復作業を行いました。17日は雨の中での作業となりましたが約100メートルの木道が出来あがり湿地帯の観察が再び楽しめるようになりました。

またカブトムシ小屋の上家も杉丸太と竹材で補修しました。参加された方々のご協力に 感謝いたします。

2月に入って新しく2名の入会者がありました。香川学園の宇部環境技術センターの小田 臨さん、吉崎礼子さんです。若い2名の入会で会員の平均年齢がさがりました。早速観察橋の修復活動に参加していただきました。今後の活動に期待をいたします。

2月11日には会員の西村靖子さんの結婚式もありました。ビオトープを作る会で初めての結婚のニュースでした。全員で西村靖子さん(新姓、大野靖子さん)の祝福をしましょう。

**2、活動報告(事務局 記)**

— 2月4日(日) 参加者23名でした。

活動結果 1) 湿地帯観察橋の修復、2) 田んぼの厩肥散布、3) 休憩イス、机の修理

— 2月5日(月) 湿地帯散策橋追加補修 吉富匡、原田マ会員 他車地有志2名応援

— 2月8日(木) 原田宗会員による田んぼの荒起こし

— 2月7・13日 イス付机修理 原田賢、藤村、吉富匡、原田マ会員

— 2月13日 間伐材搬入済み 軽トラ5台にて3m×85本)

(原田賢、田村、吉富匡、林弘、藤村、原田マ会員)

— 2月17日(土) 18名のミーティング参加で作業は13名で行ないました。

活動結果 1) 湿地帯東側横断の観察橋修復と新しく製作

2) カブトムシ小屋枠組み立て(18日 補強リブを入れ、本締め込みで完了)

3) 東屋の横に新長いす製作

今回の修復で今年度の大きな修復は完了しました。

— 2月18日(日) ビオトープシンポジウム、周南市文化会館 に於いて

講演 美濃和会員、事例紹介 西原会員

— 2月18日(日) 整理作業 解体木材焼却。湿地帯溝上げ、島の草刈。草原の小川に焼杭打ち込み

**3、今後の予定(事務局 記)**

◎ 見学者

— 3月4日(日) ネイチャークラブのビオトープでの活動

※ 岡田会長さん曰く 参加者でつくる会の活動に一部参加協力の了解を願いたいと連絡がありました。

◎ 行事

— 3月 4日(日) (第一日曜日) の保全活動〔水漏れ点検補修、階段修復〕、椎茸菌打ち

— 3月17日(土) (第三土曜日) の保全活動〔間伐材にて杭製作、エコアップ〕、勉強会

#### 4、ビオトープ関連（ビオトープ周辺の植物） 美濃和 信孝

##### サネカズラとキヅタ

昭和山の上り口に常緑のツル植物が2種生えています。一つはサネカズラで、道の左側のクスノキに絡まっています。サネカズラはマツブサ科の常緑つる性木本で、秋の終わりの赤い実が目立つので「実葛」という名前が付けました。学名は、なんと、*Kadsura japonica*といます。直訳すれば「日本のカズラ」です。*Kadsura*は属名ですが、日本語がそのまま属名になった珍しい例です。11月ごろにキイチゴを大きくしたような丸い集合果が赤く熟し、よく目立つのですが、今までこの場所にサネカズラがあることに気が付きませんでした。もしかするとこの株は、実のならない雄株なのかもしれません。別名の「ビナンカズラ（美男葛）」は、昔、枝の皮に含まれる粘液を水に混ぜて、びんつけ油の代わりに整髪に使ったことによると言われています。サネカズラのつるを20cm位に束ねて、石などで叩いて繊維をつぶしてから洗面器の中に入れてお湯をかけると、ぬるぬるになるそうです。そのぬるぬるの液体を束ねたつるで髪を洗うと柔らかい髪になるといいます。今風に言えばリンスですね。身近にある植物をこういうふうにご利用する知恵、それは一つの文化とっていいと思いますが、こういうことも今では知られることなく消え去ろうとしています。これはやはりとても残念なことではないでしょうか。

キヅタはどこでも見られる常緑のツル植物です。昭和山の上り口にはいたるところ、木を覆い尽くさんばかりの勢いで生えています。キヅタは茎から気根をだして他の木を這い登ります。葉の形には変化が多く、若い木は五角形や三角形に切れ込みが深く入りますが、老成するにしたがって葉の形は丸みを帯びます。同じウコギ科のカクレミノもいろいろな形の葉を付けますが、それと同じです。花は直径4mmくらいの小さい花を11月ごろに多数付けます。これも同じウコギ科のヤツデの花をイメージしてもらえれば、よく似ていることに気づくはずです。咲く花の少ない秋の終わりですから、この花にはたくさんの昆虫、主にハチやアブの類が集まります。今は褐色の実が多数付いていますが、春になって黒く熟すと、ヒヨドリやムクドリ、レンジャク、ツグミなどが集まって実を食べます。キヅタは、日本では1属1種ですが、欧米にはこの*Hedera*属に属するキヅタが何種かあり、アイビーという名前で日本にも観葉植物として入ってきています。アイビーとは、西洋キヅタのことで、有名なアイビー・リーグは、合衆国東部にある名門大学8校の建物がキヅタに覆われていたことから、アイビー・リーグという言葉が生まれたそうです。



サネカズラ（マツブサ科）

キヅタ（ウコギ科）

## 5. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

—1月31日— 少し寒い日、遠回りして(テクノ方面から)ゴロゴロ～来ました。世話人さま、頑張ってください増し、3度目の20〔ハタチ〕を迎えた、自称ステキなおばちゃまより  
～♡

## 6. 里山自然観察隊アンケートへの回答より抜粋

- ・準備から後片付けまで、スタッフの皆さんが手厚くして下さったおかげで、時間を気にすることもなく自然観察をすることができ感謝しております。学校や家庭で学ぶことのできない事をたくさん教えていただきました。本当にありがとうございました。頂いたシイタケ、ものすごく美味しかったです。息子たちも大喜びでした。ごちそうさまでした。(K. H)
- ・森の探検の時は木の実など家に持ち帰り図鑑で調べてました。同じような実がありなやんでましたが、とても勉強になったと思います。ドッチボールの練習と重なり6、7月が参加できませんでした。虫が苦手なので来年はぜひ昆虫採集にも参加させたいと思います。親子でとても楽しませていただきました。ありがとうございます。(Y. H)
- ・今年あまり参加出来なかったのが残念でした。毎年いろんな体験をさせてもらって、子供たちに生きる知恵が伝わっていくのがうれしいです。ありがとうございました。(来年は必ず、きのご採集に参加したいです)(T. S)
- ・昨年はお世話になりました。上の子どもとうとう小学校を卒業で今年中学生です。初めて参加した時のことが昨日のように思い出されます。あれから4年もたったとは、とても思えないですね。あっという間の4年間でした。普段の生活で経験できないようなことを、あまりお金をかけずに出来るし、いろんな大人の人と接することができて子供にとっても、親にとってもとてもいい場所だと思います。今年上の子は、参加できるかどうかわかりませんが下の子が参加すると思いますので今年もよろしくお願いします。遅くなりましたが、おもちとしいたけ、ありがとうございました。(N. N)

## 7. 会よりの連絡事項

寒いときや雨の中、里山の保全で皆さま大変ご苦勞様でした。今年分はまだ少し残っていますが、大方済みました。3月～4月の活動は、間伐材の杭作成、エコアップ、植栽、勉強会、里山自然観察隊準備、総会準備、等々となります。

## 8. 編集後記

暖冬で、すごしやすい冬です。遠距離通勤の身にとっては、とてもありがたいのですが、こんなに暖かくて本当にいいのだろうかと思うこのごろです。暖冬のせいかどうか、小野湖もすっかり干上がっています。先日の雨もそんなに降っていないので、状況は変わっていないのでは。ビオトープの赤ガエル1週間遅いとか。先日ラジオを聴いていたら、今年土筆が遅かったとか、あまり暖かいと、冬がなかなか来ないと思ってしまうのかもしれないね。冬が来ないと、春も来ない。秋から、春になるには、やはり、冬が必要なのでしょうね。ぶつぶつ……

(藤井 義晴 記)